

第55回男子 全宮古中学校駅伝競走大会要項
第42回女子

- 1 主催 宮古中学校体育連盟
- 2 後援 沖縄県教育委員会 宮古島市教育委員会 多良間村教育委員会
- 3 主管 宮古島市陸上競技協会
- 4 協力 沖縄県宮古島警察署
- 5 期日 令和7年10月25日(土)
- 6 日程 オーダー変更 08:00まで
開会式 08:30(女子1区の選手は参加免除)
女子スタート 09:15
男子スタート 10:40
閉会式 最終走者ゴール後15分程度
- 7 会場 『上野陸上競技場周回コース』
- 8 申込締切 令和7年10月9日(木) 15:00必着
- 9 申込先 宮古中体連駅伝専門部長 平良中学校 与古田健伍まで
※WEBにアクセスし、学校を選択、パスワードを入力して、エントリーフォームを開き必要事項を入力したうえで申し込む。申込書をプリントアウトしたものに、捺印を受け、1回目の監督会議で申し込む。
- 10 監督会議 1回目:令和7年10月9日(木) 15:00 場所:鏡原中学校(図書館)
2回目:令和7年10月24日(金) 15:30 場所:上野陸上競技場
- 11 競技形式 学校対抗とする
- 12 参加資格 (1) 宮古中体連に加盟する学校で、当該中学校の認める生徒であること。
(2) 選手は中学生らしく、競技者にふさわしい髪形及び身なりであること。また、監督会議申し合わせ事項に該当する生徒とする。
(3) 競技者の引率は出場校の校長・教員・部活動指導員とする。監督等は出場校の校長・教職員(常勤)・部活動指導員とする。教職員以外のコーチについては学校長の認めた者で地区・県に登録された者とする。
(4) 宮古中学校体育連盟が主催する本大会に出場するチーム・選手の引率者、監督、外部指導者(コーチ)、トレーナー等は、部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等により任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていない者であること。校長はこの点を確認して、大会申込書を作成する。なお、外部指導者は校長から暴力等に対する指導処置を受けていないこととする。
(5) 地域スポーツ団体等(地域クラブ活動)の参加資格については、沖縄県中学校体育大会開催基準「特別規定」による。
(6) 県大会への代表権を獲得した場合は地区代表としての自覚と責任を持ち、宮古中体連の計画・指導を遵守し、県大会への出場ができるチームであること。
- 13 参加制限 チームは監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、登録競技者男子10名、女子8名で編成しすべての区間は共通学年とする。

- 14 競技規則 2025年日本陸上競技連盟駅伝競走規準及び県駅伝競走大会に準ずる。
(競技者の変更は監督会議の申し合わせ事項による)
- 15 アスリートビブス (1) アスリートビブスは白生地でB5判大とし黒字で記入する。(専門部より配布)
(2) アスリートビブスは、ユニフォームに安全ピンで確実に留めるようとする。
(3) 各学校のナンバーは以下の宮古中体連割り当ての学校番号とする。
 1 池間 2 狩俣 3 西辺 4 平良 5 久松 6 鏡原
 11 上野 12 下地 16 多良間 18 北 19 伊良部島 20 城東
- 16 コース (1) 男子総距離は18kmの6区間とする。
 1区(3km)・2区(3km)・3区(3km)・4区(3km) 5区(3km)・6区(3km)
(2) 女子総距離は12kmの5区間とする。
 1区(3km)・2区(2km)・3区(2km)・4区(2km) 5区(3km)
- 17 表彰 団体は第1位～第4位まで、個人は区間賞第1位～第3位まで表彰する。
- 18 その他 (1) 男女とも1位から4位までは県大会への出場資格を与える。
 ※R7年度は那霸地区開催(久米島コース)
(2) 競技者は医師の検診を必ず受ける。
(3) 出走者のオーダーを大会前日の監督会までに駅伝専門部長に提出する。大会当日
 のオーダー変更は、事故・病気があった場合のみとし、8:00までに申し出るものとする。

第55回男子

第42回女子

全宮古中学校駅伝競走大会

大会実施要項細則

- 1 日 程 10月25日（土） オーダー変更 08時00分
開会式 08時30分
競技開始 09時15分 女子スタート
10時40分 男子スタート
表彰式 最終走者ゴールから15分後
- 2 会 場 『上野陸上競技場付設周回コース』（別紙）
- 3 監督会議 (1)日 時 令和7年10月9日（木） 15:00～
(2)場 所 『鏡原中学校 図書室』
(3)内 容
①参加申込書提出（紙媒体）※電子ファイル10/9（木）締切
②競技上の注意と確認事項について
③競技者変更について
④その他
- 4 開・閉会式 (1)開会式 8時30分
①参加者 各学校の選手・補員全員
②集合時刻 8時25分
③集合場所 上野陸上競技場 スタート・ゴール地点
※女子1区及び2区の選手のみ開会式参加を免除する。W-upはスタート横の駐車場とする。
(2)閉会式
①参加者 各学校の選手・補員全員
③集合時刻 最終走者ゴールから15分後
④集合場所 上野陸上競技場 スタート・ゴール地点
- 5 監督及び競技者注意事項
- (1) 本駅伝大会は2025年日本陸上競技連盟駅伝競走規準並びに本大会実施要項・細則及び監督会申し合わせ事項によって行う。
- ①スタートにおける並び方は、進行方向に向かって左から学校番号順に並ぶ。
- ②出発は規則に準ずるが、特に次のように合図する。
- 10秒前「On your marks(オン・ユア・マークス)」（このときは必ず静止する。）
スターは定刻にスタートさせる。
- (2) 出発について第一走者への注意
- ①出発の10分前、5分前、1分前、30秒前、10秒前をアナウンスする。
- ②10分前に競技者の紹介を行う（所要時間約3分程度）。選手招集場所から学校番号順に紹介し、その後はスタートラインまで移動し、支度をする。
- ③スターは10秒前のアナウンスと同時に「オン・ユア・マークスの声をかける。（競技者は静止する。）
- ④競技者は「オン・ユア・マークス」の合図でスタートラインに並び、ピストルの合図でスタートする。（不発の場合でもスタートする）
- ⑤フライングがあった場合は、スタートのやり直しを行う。（2分後に行う）
- (3) 同一区間での走者の交代は認めない。競技者が怪我又は腹痛等の不慮の事故で競技を続行することできない場合は、当該チームのその区間の競技を無効とする。但し、そのチームは、審判長の指示に従い、次区間走者から競技を再開することができる。その場合、チーム全体の記録・成績は認めないが個人の記録・成績は認められる。
※但し、「走行不能かどうかは、審判長及び競技役員の判断による」
- (4) 各区間において先頭通過後15分を過ぎたチームは、審判長の判断により繰り上げスタートもありうる。再開時は白タスキを用いることとする。

(5) 競技者の最終点呼は以下の通り行う。

	第1区	第2区	第3区	第4区	第5区	第6区
女子	8:55	9:15	9:22	9:29	9:36	△
男子	10:20	10:29	10:38	10:47	10:56	11:05

(6) 上野陸上競技場倉庫前をスタート、ゴール地点とする。中継所のタスキの受け渡しは中継点の前方（進行方向）20mとする。

(7) 競技者の道路上の走り方は、道路の左側部分を走る（左側部分の最短路側帯を走ってよい）。警察官とその他役員の指示に従うこと。交差点では、交差点の中心から右に出てはならない。（交差点⑯と⑰）

(8) コース下見時は安全面に十分に配慮し次の事項を厳守すること。【別紙資料配付済】

- ①監督・コーチの付き添いのもとに行うこと。
- ②一般車両に迷惑がかかるないように配慮すること。

(9) 大会当日（大会実施中）はすべての車両をコース上に駐車又は停車しないよう協力を依頼する。

(10) 競技中は各学校関係者による安全確保のためのオートバイでの観察を認めない。4名の競技役員を配置し、オートバイによる移動観察を行う。

(11) チームの関係者及び保護者等の車両・自転車等による伴走行為は、一切認めないものとする。（保護者や応援生徒への周知を図る）

(12) 「たすき」は必ず肩から斜めに脇の下にかけて走る。たすき渡しに際して、前走者がたすきを外すのは中継線手前400mから、次走者がたすきをかけるのは中継後200mまでをおおよその目安とする。

※「たすき」をかけない場合は、罰則ではないが厳重注意とする。酷い場合には警告とする。（審判長より告げられる）たすきをかけたままゴールする。

(13) 登録選手を変更する場合は、登録者変更届（公印が必要）を監督会議（前日）に受付に提出する。その際、競技者は医師からの診断を受けること。

(14) オーダー（監督印が必要）提出後のケガや・事故等における競技者の変更に関しては、大会当日の監督会で行うものとする。変更の仕方について以下のようにする。

- ①交代区間への補員からの起用
- ②補員起用に伴う変更届の提出
- ③スタートリスト提出後の区間変更是認めない。

(15) 競技者は医師の診察を必ず受けるものとする。参加申込書の健康診断結果の記入のない場合は出場を認めない。尚、診断書に記入された申込書は校長・医師の押印後、差し替える。

(16) 競技者は、招集場所付近に荷物置き場を設置する。走って終わった後は忘れ物をしないよう速やかに自分の荷物を持ち帰ること。

(17) 競技規則を守るよう各学校で十分に指導しておくこと。沿道での声援は保護者や学校関係者にガイドラインを守って実施するように注意すること。

(18) 着替え等の管理は各学校で対応すること。

(19) 救護テントを設置するが、生徒には走った後、倒れないように指導する。また、選手が倒れ込んだ場合備え、各学校でお世話係を配置する。（女子生徒は女子職員で対応することが望ましい）

スタート・ゴール周辺図

